

## 県協議会体制から脱皮

とまったものを活動団体連合の事務局役だった「県協議会」が受けて、3つめは活動計画の再提出です。従来からの活動計画は法律の制定以前もので、法律の主旨に則った計画を再提出することになりました。

### ○除草剤が使えることに

質疑応答では、事前の質問書も含めて多くの参加団体がそれぞれの事情を踏まえての質問や意見を出していましたが、私たちとして目新しい事案としては「除草剤使用」について地上部分を枯らすものという限定付きで認められたことです。また共同活動部分の交付金の日当部分の一部を非常に限定的に長寿命化事業に使えることになったことなどでした。

## 上郷小学校2年生の感想文を朝市で掲示



朝市のレジスターが始まる前に読んでもらった

6月に田植え見学に来た上郷小学校2年生が見学の感想文を届けてくれました。中には用紙の裏にその時の様子を絵に描いてくれているものもありました。折角の作品なので7月の朝市の会場に掲示させていただきました。

残念ながら全ての感想文は掲示できませんでしたが、農業への関心や、驚きなどが正直に綴られていました。



県、農林事務所、市の職員がそれぞれの立場で説明

7月24日、山口憲土地改良事業団体連合会にて、多面的機能支払交付金制度についての山口市の説明会が行われました。法律に基づく事業になるために多くの点が変わりになりました。それらを十分に活動組織が理解するために、事前に100ページ近い資料が送られて来ました。

### ○市から

### 直接交付金

大きな変更点は3つ上げられます。一つは従前から何度もお伝えしているように「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に規定された事業であることです。このことは私たちの活動の重要性について再認識する必要があります。

二つ目は交付金の流れが国県市でま



「厳しいな」の声が漏れる

# 夜空を彩る花火3000発



時折吹き付ける南風に花火が流れるような模様を描く

きですが、今回は小学生を対象にしたペットボトルロケット作りが行われました。500ccのペットボトルを二つ組み合わせせてつくります。中に入れる水の量と中に入れる空気の量（手押しの空気入れて15回）を

台風12号の進路と速度を気にしながら第37回ふしの夏まつりが7月25日、東津河川公園で予定通り開催されました。呼び物の花火の時刻には3万人以上の人が風に揺らぐ花火を楽しみました。

地区としての参加はしないことになりましたが、伝統のお祭りですので、たくさんの方が楽しめたのではないのでしょうか。

日中の暑い時間はイベントには不向

一緒にしてどこまで飛ばさ、みんなで競っていました。何度か飛ばすうちに細部が改良されて最後には50メートル近く飛ぶロケットも現れ、周りを驚かせていました。

日が陰ってくると「総踊り」が始まりました。飛び入りも含めて10数団体が「ふしの踊り」「小郡音頭」を踊り歩きました。

日が暮れるとお目当ての花火を目指して、続々と人々が来場します。見る



東津自治会の仮装メンバー

見るうちに公園内は家族連れなどいっぱいになりました。用意されたのは3000発とのことでしたが、石ヶ坪山に近いところで打ち上げるので、花火の爆発音の反響が迫力満点。途中

ではステージのバンド演奏と花火を連動させる試み行われましたが、音楽と花火の演出がピタリと合って、大きな拍手となっていました。

昨年から中学生や高校生などのボランティアも参加して準備作業や、翌日の清掃作業に参加しています。また小郡中学校では、PTAと一緒に生徒はバザー店を運営していました。おそろいのTシャツで呼び込みながら、かき氷とフランクフルトソーセージを売っていました。みんなの夏の思い出になると良いですね。

## 回転刃の音しか聞こえないマシンを操るのは

7月26日は墓地の除草でした。一年間しっかりと伸びた雑草を何台もの刈り払い機で処理していきます。

刈り払い機はエンジンタイプが殆どですが、最近では電池モーター式があります。6班の青木さんが稼働させているのはまさにその新型タイプ。

早速、調子を伺いました。どのくらい使えますかと聞くと「1時間は無理かな。30分くらいですね。」とのことでした。

家の周りの作業なら十分ではないのでしょうか。静か過ぎて反対に怖いかも知れませぬね。



エンジン音もしないし、排気ガスもなし「クール！」